

あべともこニュース

第50回総選挙を経て、新たな国会論戦へ

◆148人の仲間と共に政権交代のための政策作り。

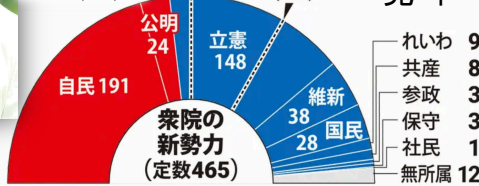
第50回衆議院選挙の結果、与党第一党の自民党が191議席と公示前より67議席を減じ、立憲民主党は公示前98議席から148議席へと大幅に議席を増やし、拮抗しつる勢力に。皆さんのご支援に感謝し、しっかりと時代を前に進めねばなりません。

喫緊の課題として著しい物価高等の対策を中心とする補正予算を提案していますが、同時に本来に求められる政権交代の準備をどう進めるかも、急がねばならない課題です。

折しもイギリスでも本年7月、14年ぶりに労働党が政権交代を実現。

立憲民主党も民主党政権の下野で頓挫した数々の課題に愚直に取り組みとともに、人を過半数(233)幸せにする経済やジェンダー平等、多様性のある社会への道のりを提案していきます。

毎日新聞 2024,11,2



衆議院議員あべともこプロフィール

神奈川12区(藤沢市・寒川町) 当選9回、東京大学医学部卒業、小児科医、あべともこ子どもクリニック(湘南台)理事長 現在、環境委員会 原子力問題調査特別委員会委員

あべともこ 公式X (旧Twitter) @abe_tomoko

https://twitter.com/abe_tomoko

あべともこ事務所 公式Facebookページ

<https://www.facebook.com/abetomoko.jp>

あべともこ 検索

◆トランプ政権に国際協調を求めよ！

先に行われた米国大統領選挙でトランプ前大統領が再び大統領となりました。トランプ流の自国ファースト、即ち米国の利益を第一にとり、例えば基地負担や貿易等で日本側に様々な難題を持ちかけてくる可能性も…。日本はアメリカ一辺倒ではない多国間の協調外交、防衛政策で臨むべきであり、勢力を拡大しようとする中国とも対話を重ね、アジアにおける衝突の未然防止に率先して努める必要があります。

他方国際社会ではロシアのウクライナ侵攻、中東における国連を無視したイスラエルの蛮行をアメリカは追認するなど、国連のルールは簡単に反故にされています。とりわけ、トランプ政権はこれまで気候温暖化防止や核軍縮のルールを含めて、条約からの離脱を繰り返してきました。再度国際規範を守ること、日本からも求めていかなばなりません。

◆非核社会の実現は私達の手に。

10月12日、日本原水爆被害者団体協議会(日本被団協)が、ノーベル平和賞を受賞。1956年8月に結成された、広島・長崎の被爆者でつくる市民団体ですが、身をもって広く国内外で被爆の悲惨な実態を伝え、核兵器の廃絶や被爆者の救済を訴えてきたことが受賞に繋がりました。

ウクライナ戦争や中東戦争の中でも核兵器の使用が示唆され、核の脅威は今も世界を震撼させています。さらに核を保有する国は世界で9カ国もあり、核抑止による安全保障体制が敷かれてしまっているという現状もあります。

日本は2021年に発効した「核兵器禁止条約」を、唯一の戦争による被爆国と言いつつ批准していませんが、何故? 12月22日には、先にノーベル平和賞を受賞した川崎哲さん(核兵器廃絶国際キャンペーン)をお招きしての講演会を開催します。

市民一人一人の核兵器廃絶を考えると、機会を思いたいと思います。

